

奈良県における国際交流の推進に対する支援について

【県担当部局】
観光局 観光プロモーション課
知事公室 国際課

国にお願いすること

【担当省庁】国土交通省、観光庁

- (1) 本県が進めている世界観光機関（UNWTO）との連携強化に対する支援をいただくこと。
その1つとして、2022年に予定される「第8回ガストロミーツーリズム世界フォーラム」を本県において開催いただくこと。また、「専門機関の特権及び免除に関する条約」の附属書XⅧを速やかに締結いただくこと。
- (2) 本県が進めている東アジアとの地域間交流に対する支援をいただくこと。
その1つとして、2020年に予定される「第10回日中韓観光大臣会合」を本県において開催いただくこと。

理由

- (1)について
 - 奈良県は、世界で唯一、UNWTOの地域事務所を有する地として、UNWTOの取組みに積極的に関与している。また、「食」の魅力向上を観光力の重要な要素として位置づけ、「食」と「農」の魅力の創造と発信により地域の交流人口の増加を図り、地域の活性化につなげる取組みを積極的に推進している。
 - 現在、「食」と「農」のトップランナーを育成する「なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）」と、UNWTOが推進するガストロミーツーリズムを支えるバスク・クリナリー・センター（BCC）との協定の締結について協議を進めているなど、奈良県は、「ガストロミーツーリズム世界フォーラム」の開催地として、最もふさわしいと考える。
 - また、我が国は、「専門機関の特権及び免除に関する条約」（「条約」）のUNWTOに関する附属書XⅧを締結しておらず、UNWTO及びその職員等に対し、条約に基づく一定の特権及び免除が付与されていない。UNWTOは、1995年の地域事務所設立以降、正規職員を常駐していないなど、我が国における活動の制約になっていると考えられることから、この附属書を速やかに締結することが望ましいと考える。



- (2)について
 - 奈良県は、2010年、平城遷都1300年を機に、日本、中国、韓国の地方政府を中心とする「東アジア地方政府会合」を設立・開催し、以降、毎年度、奈良県のイニシアチブにより継続的に開催し、地方政府の行政能力を高めるとともに、相互の友好交流を深め、国家間の外交を補完し、平和で安定した東アジアの発展に貢献するよう努めている。また、中国・陝西省や、韓国・忠清南道と友好提携を締結し、青年派遣の交流など、地方レベルの交流を積極的に進めている。
 - 奈良県は、シルクロードを通じて、東アジアを中心とするユーラシア各地のさまざまな文明を受け入れて形成された日本最初の首都・平城京が置かれた国際交流都市であり、ユネスコ世界遺産リストに3件の文化遺産が登録されるなど、日本を代表する観光地であることから、日中韓観光大臣会合の開催地として、最もふさわしいと考える。

奈良県の取組

(MICE)

- 現在、JWマリオットホテルと国際会議場が併設された新たなコンベンションセンターの建設を進めており、2020年春にオープンする予定。木をふんだんに使用した日本らしいデザインで、ホスピタリティの高い会議の開催が可能。
- 仏像などの彫刻及び寺院などの建造物の国宝件数はともに全国1位、また日本酒など多くの伝統産業発祥の地でもあり、様々なエクスカージョンや文化財などを活用したユニークベニューでのレセプションも可能。



【参考】奈良県における政府系国際会議の開催実績（2014年～2019年）
・「東アジア地方政府会合」（2014年、2015年、2016年、2018年、2019年（予定））
・「OECD観光統計グローバルフォーラム」（2014年）
・「日ASEAN特許庁長官会合、特許庁シンポジウム」（2015年）
・「UNWTO遺産観光に関する国際会議」（2016年）
・「UNWTO第28回東アジア太平洋・南アジア合同地域委員会」（2016年）
・「持続可能な観光に係る国際シンポジウム」（2019年）

（「食」と「農」の魅力の創造と発信）

- 2016年1月、東京・白金台に奈良の「食」と「魅力」の発信拠点「ときのもり」をオープン。奈良県産食材レストラン「シエル エ ソル」が「ミシュランガイド東京」で一つ星を獲得。
 - 2016年4月、「食」と「農」のトップランナーを育成するNAFICを開校。NAFICのオーベルジュ機能や立地を活かし、新たにセミナーハウス等を設置するなど、周辺施設をさらに充実。
 - 2018年5月、タイ・バンコクで開催された「第4回ガストロミーツーリズム世界フォーラム」に荒井知事が招へいを受け、ガストロミーツーリズムに関する奈良県の取組みを発表。UNWTOポロリカシュヴィリ事務局長と会談。
 - 2018年9月、UNWTOポロリカシュヴィリ事務局長が来県。UNWTOとの連携強化について意見交換を行うとともに、奈良県のMICE関連施設などを視察。
 - 2019年10月、NAFICとBCCとの協定の締結に向け、訪日を予定しているUNWTOポロリカシュヴィリ事務局長と会談を予定。
- ### （地域間交流）
- 2010年、平城遷都1300年を機に、「東アジア地方政府会合」を設立・開催し、以降、毎年度、奈良県のイニシアチブにより継続的に開催。現在の会員数は7カ国72地方政府（中国16、インドネシア2、マレーシア1、フィリピン3、韓国8、ベトナム5、日本37）。
 - 中国・陝西省（2011年）や、韓国・忠清南道（2011年）と友好提携を締結。10周年を契機として、企業や教育機関等で構成する友好交流団の相互派遣や、海外での企業展示会への出展など、人的交流や経済交流をさらに発展。